
日本インターンシップ学会 NEWS LETTER

2010年度 NO.1

目次

- ・第11回大会準備報告
- ・年報編集委員会報告
- ・十周年記念事業WG報告
- ・企画研究WG報告
- ・理事会報告
- ・支部活動報告（関西支部、九州支部、北海道支部）
- ・平成22年度高良記念研究助成募集について
- ・事務局からのお知らせ

第11回大会準備報告

第11回大会は、平成22年10月2日(土)～3日(日)に、長崎ハウステンボスの地でいたします。大会初の九州地域での開催、しかも長崎のテーマパークが会場という今大会は、土曜日午後にスタート、日曜日のお昼に終了という2日間の日程で実施いたします。全国各地よりのご参加を心よりお待ちしております。

本大会のテーマは「地域の人材育成とインターンシップ」といたしました。

1日目の特別講演には、長崎国際大学学長の潮谷義子氏が登壇します。氏は、熊本県知事を2期務めた後に学長に就任、知事時代のモットーである「パートナーシップ」と「ユニバーサルデザイン」は、地域と歩む大学の運営にも活かされていますが、本講演でも地域の行政、企業や団体等との連携による若者支援の方向性について熱く語っていただきます。

続く総会と高良記念研究発表の後には、シンポジウム「高等教育と地域の人材育成—地域連携のインターンシップの現状と課題」を企画いたしました。

コーディネーターを本学会会長である、吉本圭一九州大学大学院教授にお願いし、パネリストに、電通九州コンサルティング・ディレクター 北島正一氏(受入側)、長崎純心大学キャリアセンター長 米倉幸生氏(大学側)、若者自立支援長崎ネットワーク代表理事 浜民夫氏(行政・仲介側)のお三方をお迎えして、地域と連携したインターンシップの現状と課題について、フロアを交えて討議していただきます。

終了後は会場を移動して、園内のホテルでの懇親会を行ないます。地元長崎の食材を活かした料理と、新生なった、ハウステンボスの夜をお楽しみください。

翌日午前中は、研究発表を2セッション準備しておりますので、多数ご応募いただきますよう、申し込みをお待ち申し上げます。

大会ホームページ

<http://sites.google.com/site/internship2010jsi/>

にも、申込方法・締切り期日など詳しく記載いたしますので、そちらをご参照ください。

都市圏から離れた、九州佐世保の地での開催は、アクセス面などで何かとご不便をおかけするかと存じますが、現地スタッフ一同、心を込めて皆さま方をお迎えする所存でございますので、是非ご参加ください。ハウステンボスへのお越しをお待ち申し上げます。

(第11回大会実行委員長 安部 恵美子)

年報編集委員会報告

学会誌編集状況について

年報編集委員会では、現在、各委員や第10回大会実行委員会のご協力を得て、平成22年度発行の学会誌の編集作業を進めております。今年は8篇の投稿を頂きました。投稿論文の査読を終え、各投稿者に対して修正方をお願いしている段階です。「論文」、「研究ノート」、「報告」などに分類し、夏には印刷に回す予定です。

(年報編集委員会 委員長 安孫子 勇一)

十周年記念事業WG報告

十周年記念事業WGでは、目下、「10周年記録集」の編集に取り組んでおります。内容としては、①学会が創立される前後におけるインターンシップの推進状況、②インターンシップ学会組織の変遷、③研究会の実施状況と学会大会の動向、④企業や大学における先進的な取組み事例、⑤研究年報に掲載された諸論文の動向、⑥アンケート調査結果と将来の学会活動、⑦資料(インターンシップに関する参考文献など)などから構成される予定です。原稿や資料を収集中であり、本格的な編纂は6月以降となる予定です。

(十周年記念事業WG 委員長 田中 宣秀)

企画研究WG報告

学会員による共同研究の促進・支援、第一弾

この企画研究ワーキンググループは、学会員のさまざまな学術的、実践的な研究活動、特に共同での研究活動を促進し、また学会として必要とされる研究活動を企画していくことを目的として、2009年10月から始動しました。ワーキンググループの最初の仕事として、亀野淳常任理事（北海道大学）を中心にメンバー有志による共同研究を企画し、この度、下記の科研が採択となりました。この研究には、グループメンバーを中心に亀野淳、稲永由紀、牛山佳菜代、古閑博美、沢田隆、江藤智佐子、田崎悦子、長尾博暢、真鍋和博、椿明美、徳井美智代、高橋秀幸、大久保貴司、吉本圭一（順不同）の各氏が参加しています。本ワーキンググループとしても、この研究を積極的に支援していきたいと考えています。以下は、研究代表者からのメッセージです、どうぞよろしくお願いいたします。

（企画研究WG 委員長 吉本 圭一）

平成 22-24 年度 科学研究費補助金・基盤研究(B)
「インターンシップなど産学連携教育を通じた
学校から社会への移行システムに関する研究」

本研究では、就業体験が中心である現在のインターンシップなどの産学連携教育を大学生の就職システム、教育から社会への移行システムの一方策として位置付けるため、その現状と可能性について国内外でのアンケート調査及びインタビュー調査等の分析により明らかにする予定です。

具体的な研究方法としては、国内の教育機関、企業へのアンケート調査、聞き取り調査及び欧州やアジア諸国を中心に聞き取り調査、情報収集を行います。本研究の成果は逐次、本学会の様々な媒体を通じて公開する予定です。

この研究にご関心をお持ちの学会員は、ぜひ研究代表者、あるいは企画研究ワーキンググループメンバーまでご連絡下さい。

（研究代表者 亀野 淳）

理事会報告

2009 年度第 4 回理事会（12/6@立命館大学）

〔審議事項〕

(1) 入退会申請について入会 4 件、退会 2 件の申請についてすべて承認された。

〔報告事項〕

(1) 前回理事会議事録を原案どおり了承された。

- (2) 第 10 回大会（嘉悦大学）報告が古閑大会実行委員長よりなされた。
- (3) 第 11 回大会の準備状況について、安部大会実行委員長より平成 22 年 10 月 2 日（土）午後～3 日（日）午前に開催予定であることなどについて報告があった。
- (4) 太田高良記念研究助成審査委員長より、「平成 20 年度高良記念研究助成」研究終了報告があった。平成 20 年度受賞者である真鍋、渡邊両会員が第 10 回大会において研究発表を行ったこと、研究終了報告書が提出されたことについて報告があった。
- (5) 安孫子年報編集委員長より第 13 号刊行準備状況について、投稿論文の締切を 1 月 20 日で準備をしているとの報告があった。
- (6) 亀野事務局長よりニュースレター第 2 号発行の報告があった。
- (7) 吉本企画研究 WG 委員長より、企画研究 WG が中心となりインターンシップに係る企画研究を実施したいと報告があり、その一環として亀野事務局長より、科研費の申請を行ったとの報告があった。
- (8) 10 周年記念事業 WG 田中委員長より、10 周年記念シンポジウムが無事終了したことなどについて報告があった。
- (9) 加藤関西支部長より、第 5 回研究会を 12 月 5 日に開催したこと、設立 5 周年記念報告書の発刊計画を進めていることが報告された。
- (10) 吉本九州支部長より、第 5 回研究会を 11 月 13 日に開催したことが報告された。
- (11) 事務局より、事務局が九州大学から北海道大学へ移転し、11 月 15 日に引継ぎが行われたこと、11 月下旬に News Letter（平成 21 年度第 2 号）及び 21 年度の会費未納者（69 名）への督促状を送付したことについて報告があった。
- (12) 亀野事務局長より、来年 3 月に北海道支部設立を行いたいとの計画が報告され、了承された。
- (13) その他として、①太田理事より、関東支部の設立についての計画が報告された。②次回理事会について、北海道支部設立総会にあわせて理事会を開催したい旨提案があり、了承された。

2009 年度第 5 回理事会（3/7@北海道大学）

- (1) 前回理事会議事録について原案どおり了承。
- (2) 安孫子年報編集委員長より、第 13 号の投稿件数、編集の進捗状況について報告があった。
- (3) 太田高良記念研究助成審査委員長より提案があり、応募者の増加と委員会の体制について検討した。
- (4) 支部報告として、関西支部からは支部報告書の進捗状況と経費、12 月の 5 周年イベントの計画と運営委員任期の検討等について、九州支部からは 6

月の研究会の計画について、北海道支部からは前日に支部の設立を行ったこと及び研究集会の開催について報告があった。また、関東支部設立に向けての研究会の計画とアンケート実施状況について報告があった。

(5)事務局から、5月に会費納入依頼、全国大会の案内、News Letterなどを発送予定であると報告があった。

(6)審議事項として、①入退会申請者についての審議承認がされた。また、会費未納会員の学会発表や投稿への対応が検討された。②平成22年度の年間活動計画について審議承認された。③第11回大会運営について報告審議された。

(事務局)

支部活動報告

関西支部

設立5周年記念フォーラム開催に向けて

関西支部は本年度、設立5周年を迎える。これまでご支援、ご協力いただいた学会員の皆さまには、心から御礼申し上げたい。

さて、節目を迎えるにあたって支部として、記念フォーラムの開催を計画しているので、その概要をお伝えする。

<関西支部設立5周年記念フォーラム(案)>

開催日時/2010年12月10日(金) 17:30~19:30
会場/未定

タイトル/秀逸なインターンシップに共通するもの(仮題)

フォーラムでは、産業界から見た様々なタイプ(例えば、理系高度人材育成タイプやBtoB知名度向上タイプ、社員啓蒙タイプ、求人活用タイプなど)のインターンシップ事例発表を揃え、そこに共通するものを探り出し、理想的な産学連携教育のあり方を問いたいと考えている。このため、今春から地元関西の経済団体などを訪問し、基調講演者やパネリストの選出作業を進めてゆく予定である。会員の皆さまには、ぜひ参集いただきたい。

一方、関西支部はこのほど、これまでの5年間の研究発表の成果を集約する報告書『設立5周年記念報告書 研究発表2005~2008』を作成した。会員の皆さまには、既述の記念フォーラム会場にて無料配布する計画である。ご承知の通り、関西支部は設立以来、総合大学(2006)、工業高等専門学校(2007)、女子大学(2008)と学校種別のインターンシップの事例発表を行ってきた。同報告書は、それら研究成

果を総括するもので、各年度の研究成果分析は筆者が担当した。総じて、学校種別に見るインターンシップは固有の課題と方向性、そして確立したノウハウを持っており、インターンシップの健全な発展と普及に、その成果が大いに寄与することが確認されている。会員の皆さまのご高評をお待ちしている。

(関西支部 支部長 加藤 敏明)

九州支部

九州支部平成22年度第1回研究会を開催

九州支部では平成22年度第1回研究会を開催します。テーマは『教育プログラムとしてのインターンシップ~振り返りを通して体験から経験へ~』。インターンシップの教育的効果をいかにして生み出すかを、事後の振り返り活動の効果的な実施を中心に考えていきます。皆様のご参加をお待ちしております。

■開催概要

日時;平成22年6月19日(土)14:00~17:00

場所;中村学園大学 西2号館2階2505

プログラム;

1. 開会のごあいさつ 吉本圭一(九州大学)
2. 発表Ⅰ 中原淳二氏(福岡県インターンシップ推進協議会・事務局長) / 「福岡県インターンシップ推進協議会のボランティアスタッフ育成プログラムについて」
3. 発表Ⅱ 浅岡由美氏(中村学園大学流通科学部・教授) / 「流通科学部のインターンシップ」
4. 発表Ⅲ 酒井佳世氏(久留米大学就職・キャリア支援課・講師) / 「資格取得型実習とインターンシップの違いの比較考察」
5. 休憩
6. 総合討論
7. まとめと閉会のごあいさつ 吉本圭一

※開催概要は予定です。変更が生じた場合は学会WEBサイト等にてお知らせ致します。

参加費;学会員;無料 非学会員;¥3,000 (当日の学会入会も受け付けております)

参加申込み;①お名前②ご所属・部署③お役職④電話番号⑤メールアドレス⑥学会員-非学会員別、以上を明記の上、jsikyushu@gmail.com宛にてE-mailにてお申し込みください。

(九州支部 副支部長 真鍋 和博)

北海道支部

北海道支部の設立および活動報告について

[北海道支部の設立]

2010年3月6日(土)に北海道支部設立総会の設立総会を開催し、北海道支部を正式に設立いたしました。関西支部、九州支部に続く3つ目の地方支部です。同設立総会では、支部長に亀野淳会員(北海道大学)、副支部長に沢田隆会員(札幌国際大学)、椿明美会員(札幌国際大学短期大学部)を選出しました。

北海道支部としては、今後、年3~4回程度の研究会などを開催する予定です。

[北海道支部設立記念研究集会の開催]

北海道支部の設立を記念して、同日、設立記念研究集会を開催いたしました。全国から学会員・非会員含め約50名の参加がありました。

まず、大西雅之氏(株式会社阿寒グランドホテル代表取締役社長)より『「観光人材養成講座」と鶴雅の取り組み』と題して基調講演をいただきました。同社が札幌国際大学と取り組んでいるインターンシップの事例やホテル経営における人材育成の理念などについてお話をいただきました。

次いで、事例発表として①田崎悦子会員(札幌大学女子短期大学部)より「地産地消の就業体験~7か月のキャリア支援プログラム~」、②高橋秀幸会員(北海道札幌啓北商業高等学校教諭)より「商業高校における企業と連携した部活動における人材育成」、③伊藤良平氏(アイセック北海道委員会(北海道大学大学院情報科学研究科修士課程1年))より「バン格拉デシュでのインターンシップ体験」と題してそれぞれの取り組みに対する報告がありました。

その後、情報交換会を開催し、会員・非会員の交流を図りました。

(北海道支部 支部長 亀野 淳)

平成22年度高良記念研究助成募集について

インターンシップに係る研究あるいは実践活動の発展・普及のために、「高良記念研究助成」を平成19年度から実施しています。特に若手研究者の方は優遇いたします。個人の研究の他、会員相互の共同研究のために、お申込み頂くこともできます。

この制度は高良和武名誉会長から学会へ寄付頂いた基金をもとに実施しています。さらに、楨本淳子先生からも寄贈を頂いております。

平成22年度の研究助成の募集要項や申請書書式など、書類につきましては、本ニューズレターに同封されております(また、学会のホームページも入

手できます)。ぜひ、ご覧になり、応募を頂きますよう、お願いいたします。

助成金額は一件10万円までで、二件まで提供いたします。

申し込みの締め切りは、平成22年6月19日(土)です(当日までに事務局へ必着)。審査委員会ではお申込みを受けて採否を審査し、その結果を8月下旬開催予定の理事会で決定します。研究助成の対象者は、大会の総会席上において発表され、その研究助成期間は1年間です。来年度(平成23年度)の大会において、その研究成果を発表して頂きます。研究成果は研究年報に投稿して頂き、助成研究として掲載されます。

応募に際して一つご留意頂きたいのは、各費用のうち物品費と謝金がそれぞれ合計金額の2分の1までに制限されていることです。

内外における多様な視点からのインターンシップの研究、その実践活動の展開に関する研究についての応募をお待ちしております。

(高良記念研究助成審査委員会)

事務局からのお知らせ

「会員情報調査票」提出のお願い

新年度になり、新天地で活動を開始された会員も多いことと存じます。今年度も同封の「会員情報調査票」の確認をお願いいたします。所属・住所等が変わりましたら、速やかに事務局迄お届け下さい。連絡先が不明になりますと、年報やニューズレター、大会案内等、会員サービスが受けられなくなりますのでご注意ください。

また、皆様から返信された調査票をもとに、会員名簿を作成しております。名簿掲載事項の可否についても毎年必ず連絡願います。

会費納入のお願い

新年度になりましたので、年会費の納入をお願いいたします。詳細につきましては、本ニューズレターに同封しております「会費納入のお願い」などをご参照下さい。

会費納入先

【郵便振替】

口座番号 02750-1-108419

加入者名 日本インターンシップ学会

【ゆうちょ銀行】

店番：279 （当座）口座番号108419

受取人名 日本インターンシップ学会

【銀行振込】

北洋銀行 北七条支店

（普通） 口座番号3927955

受取人名 日本インターンシップ学会

（電信振込の場合は、「ニホンインターンシップガクカイ」と入力下さい。）

日本インターンシップ学会 News Letter 2010 No.1

平成 22 年 5 月 10 日発行

発行 日本インターンシップ学会 会長 吉本 圭一

編集 日本インターンシップ学会広報委員会 委員長 石田 宏之

印刷 日本インターンシップ学会事務局 事務局長 亀野 淳

〒060-0817 札幌市北区北 17 条西 8 丁目

北海道大学 高等教育機能開発総合センター キャリア教育支援室内

E-mail jsi-sec@high.hokudai.ac.jp 電話&FAX 011-706-5147

Website <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsi/>